

平成28年度 税制改正に関する要望

平成27年11月18日

一般社団法人 全国建設業協会

平成 28 年度の税制改正に関する要望

一般社団法人 全国建設業協会
会長 近藤 晴 貞

平素は、建設業界に対し一方ならぬご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

現下の建設業界を取り巻く情勢は、震災復興関連をはじめ、国土の防災と強靱な社会資本形成のための公共投資が底堅く推移していることや、企業収益の改善に伴う民間投資が上向きつつあることにより、ようやく活況の気配を感じられるところでもあります。しかし、その一方で、個々の建設企業の景況は、企業規模や地域による格差がみられ、特にこの傾向は地場の建設企業に顕著であります。

また、建設業界全体としては、技術者・技能者の高齢化、将来の担い手の確保・育成のための労働条件の改善や、労働環境の整備、生産性の向上、環境問題への対応などの諸課題を抱えており、安定的・持続的な事業継続の観点から、これらへの対応が急務となっております。

建設業界の使命は、社会資本の整備・維持管理はもとより、災害時の緊急対応、復旧活動により、地域の安全・安心を確保することにあります。特に、近年、激甚化する自然災害に対しては、最も早く現場に駆けつけ、最前線で道路啓開を行い、応急措置や復旧活動に尽力するほか、平時においても河川・道路清掃や防犯パトロール等、地域社会において様々な社会貢献活動を行うなど、国民生活に根差した活動を実施しているところでもあります。

これらの活動を将来に渡って継続的に果たすためには、個々の建設企業が健全で安定した経営を行うことができる基盤が必要であり、そのためにも必要な税制上の措置は欠かすことができません。税制体系の抜本的な見直しが議論される昨今の状況に鑑みると、その重要性は一層増しています。

そこで今般、各都道府県建設業協会より標記に係る意見を聴取し、

- I 租税特別措置の創設・延長・改善要望
- II 運用・手続き等の改善要望
- III 建設業における税制上の課題

につき、平成 28 年度の税制改正に関する要望をいたしますので、何卒実現いただきますようお願い申し上げます。

要望事項 目次

I 租税特別措置の創設・延長・改善要望

1. 中小企業者等の少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例の延長等 . . . 8
2. 中小法人の交際費課税に係る特例措置の延長 8
3. 欠損金繰戻し還付制度における中小企業者等に係る特例措置の延長 . . . 8
4. 雇用促進税制（雇用者の数が増加した場合の税額控除）の延長等 9
5. 新築住宅に係る固定資産税の減額措置の延長 9

II 運用・手続き等の改善要望

1. 建設現場における仮設現場事務所について、法人住民税及び事業税
に . . . 10
における「事務所・事業所」からの除外及び事務手続きの簡素化
2. 工事施工に伴う近隣対策費の損金算入及び課税対象の明確
化 10

III 建設業における税制上の課題

1. 法人税率の引下げについ 11
て
2. 法人事業税の外形標準課税について 11
3. 工事契約に係る印紙税の取扱いについ 11
て
4. 貸倒引当金の繰入限度額の引上げについて 11

I 租税特別措置の創設・延長・改善要望

1. 中小企業者等の少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例の延長等

近年では、中小企業においても業務効率化のためのIT機器等の導入及び利活用が図られているが、建設企業においては、本社や営業所はもとより、個々の建設現場におけるIT化が進行している。一方で、これら機器等は日々仕様が進化しており、業務の合理化のためには定期的な更新が欠かせない。

これに対応するための費用は年々増加傾向にあるため、少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例措置にあつては、制度の延長をお願いするとともに、対象資産の取得に係る上限額及び年間上限額の引上げをいただきたい。

2. 中小法人の交際費課税に係る特例措置の延長

中小法人は大法人に比べ販売促進手段が限られており、交際費等は中小法人の事業活動に必要不可欠な経費となっている。

このため、飲食のために支出する費用の50%の損金算入もしくは中小企業者等が支出する800万円までの定額控除限度額までの交際費についての損金算入のいずれかを選択適用できる特例措置の適用期限を延長していただきたい。

3. 欠損金繰戻し還付制度における中小企業者等に係る特例措置の延長

中小企業者等は経営基盤が脆弱であるため、当該特例措置は業績の低迷時における企業経営の下支えとなっている。また、中小企業の経営力は大企業と比較し質量ともに不足し、好不況に左右されるため、年度における欠損を解消することにより経営を軌道に乗せ、事業の継続を図るためには一定程度のセーフティネットが不可欠である。

これらの事由により、欠損金の繰戻し還付制度における中小企業者等に係る特例措置を継続していただきたい。

4. 雇用促進税制（雇用者の数が増加した場合の税額控除）の延長等

建設産業にあつては、折からの建設投資の縮小により、特に中小規模の企業の転廃業や技術者・技能者をはじめとした就業者数が著しく減少してきたところであるが、近年においては、震災復興をはじめ、国土強靱化やインフラの長寿命化、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等に向けた建設需要に対応することが建設産業の社会的な使命となっている。

機械化が進んだ現在においても、企画、設計、積算、施工、修繕といった一連の建設工事の実施にあたっては多くの人手が必要である。このため、建設企業の雇用促進にあたり必要な税制上の措置の延長を要望するとともに、現行の適用要件の緩和をいただきたい。

5. 新築住宅に係る固定資産税の減額措置の延長

住宅取得の活性化は、都市部・地方部を問わず内需の拡大に繋がること、また、住宅取得者の初期負担の軽減を通じて良質な住宅の建設を促進するため、新築住宅に係る固定資産税の減額措置を延長していただきたい。

Ⅱ 運用・手続き等の改善要望

1. 建設現場における仮設現場事務所について、法人住民税及び事業税における「事務所・事業所」からの除外及び事務手続きの簡素化

建設現場における現場事務所は、常設的な店舗や事務所と違い、工事期間内に一時的に設置される仮設のもので、建設現場ごとに随時設置しており、これを法人住民税及び事業税における「事務所・事業所」の定義に含めることは、他産業に比べ建設業に著しく不利な税制となっている。また、自治体により運用解釈があいまいで平等性に欠けることから、建設現場における仮設現場事務所については、課税対象から除外していただきたい。中でも特に、設置期間が1年を超えない短期の仮設現場事務所については、課税対象から除外していただきたい。併せて、申告が必要となる工事期間の設定や、JV工事の場合はスポンサー企業が申告するなど、具体的な基準を示していただきたい。

特に、申告・納付を行う場合にあっての手続きについて、法人地方税は制度が複雑であり、特に建設業は多数の道府県・市町村ごとに申告・納付手続きが必要なことから、非常に事務負担が大きい。このため、本店所在地での一括申告・納付等による事務の簡素化を図っていただきたい。

2. 工事施工に伴う近隣対策費の損金算入及び課税対象の明確化

建設産業において、近隣対策に要する費用は、地域住民や周辺的生活環境への配慮により発生する工事原価であるものの、一定の基準に基づかない支払い等は、交際費等と認定される場合が少なくない。

近隣対策費は、工事を円滑に施工するための必要経費であり、その支出目的が明確であり、実態も伴っていることから、本質的には、事業に関係のある者等に対する接待・贈答等の行為には該当せず、交際費とは異なる費用である。

このため、近隣対策費が必要経費として認められる支出の区分を明確にするとともに、具体例を示す等の措置を講じていただきたい。

Ⅲ 建設業における税制上の課題

1. 法人税率の引下げについて

法人税については、平成27年度税制改正において抜本的な見直しを実施され、税率の引下げが図られたほか、中小企業者に対する軽減税率の延長が行われたところである。

建設企業、特に許可業者数の大半を占める多くの中小建設業においては、潤沢な資金や固定資産を持たず、工事の施工に必要な代金の支払いと工事代金回収のタイミングが異なるなど、日々の資金繰りに逼迫しているため、経営基盤強化のための投資等の活動はもとより、地域の安全と安心を守る人材の確保・育成を進めることが困難となっている。

このような状況を鑑み、法人税率のさらなる引下げによる税負担の軽減をお願いしたい。

2. 法人事業税の外形標準課税について

日頃から地域に根差した活動を行う中小建設企業は、地域の経済や雇用を支える一方で、その経営基盤は、人的・資金的にも大企業と比べ脆弱である。

このため、法人事業税の外形標準課税の対象企業の検討にあっては、中小企業の実態を踏まえた慎重な対応が望まれる。

3. 工事契約に係る印紙税の取扱いについて

工事契約に係る印紙税については、新たな軽減税率が平成29年度末まで適用されているところであるが、課税の公平性・中立性の観点からも、長期的には廃止も視野に入れるべき課題であると認識している。

4. 貸倒引当金の繰入限度額の引上げについて

課税の公平性・中立性や地域建設業の実情に鑑み、貸倒引当金の繰入限度額について引上げが必要であると認識している。

- ・個別評価金銭債権の不良債権処理に係る貸倒引当金の繰入率の引上げ
- ・一括評価金銭債権に係る貸倒引当金の法定繰入率の引上げ